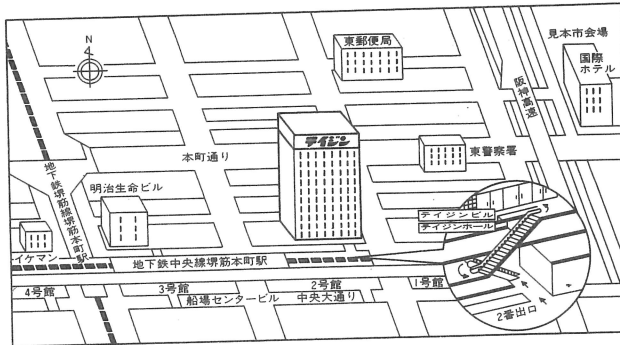
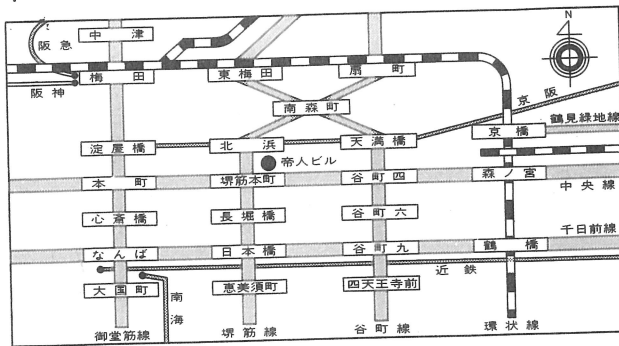


# 第23回 近畿川崎病研究会

日 時：平成11年3月6日(土)  
14:00~19:05

会 場：テイジンホール  
大阪府中央区南本町1丁目6番7号  
TEL 06-6268-3131~3132

帝人ビルディングテイジンホールご案内地図



地下鉄中央線・堺筋線の堺筋本町駅東口から専用通路がございます。(東側2号出口)

共 催 近畿川崎病研究会  
帝 人 株 式 会 社

# — 近畿川崎病研究会 —

## 第23回 近畿川崎病研究会会長

奥野 昌彦

## 運営委員長

神谷 哲郎

## 運営委員

上谷 良行	上村 茂	荻野廣太郎	奥野 昌彦
尾内善四郎	片山 博視	神谷 哲郎	北村惣一郎
清沢 伸幸	米田 正始	佐野 哲也	四宮 敬介
嶋 緑倫	清水 達雄	杉本 久和	鈴木 淳子
津田 悦子	鄭 輝男	寺口 正之	富田 安彦
内藤 泰顯	中川 雅生	中島 徹	西岡 研哉
服部 益治	馬場 國蔵	広瀬 一	藤原 久義
古庄 卷史	槇野征一郎	松下 亨	松田 暉
松村 正彦	三好 麻里	村上 洋介	山本 隆
横山 達郎	吉林 宗夫		

## 顧問

川崎 富作	川島 康生	田村 時緒	濱島 義博
森 忠三			

## 事務局

〒100-8585 東京都千代田区内幸町 2 - 1 - 1

帝人(株) 医薬事業本部内

TEL 03-3506-4868

## — 参加者へのお知らせとお願い —

### 1. 参加者へ

- (1) 研究会開始時間は午後2時です。
- (2) 研究会参加費は1,000円です。なお、本会に未入会の方は入会の程  
お願いいたします（年会費は3,000円です）。
- (3) 本研究会は、日本小児科学会認定医研修単位として3単位となっております。

### 2. 演題発表者へ

- (1) 口演時間は討論を十分に行いたいと思いますので7分をめぐりにお願い  
いたします。
- (2) スライドは35%版用とし、原則として13枚以内をお願いいたします。  
また、1面のみを使用とします。
- (3) スライドは会場入場の際「スライド受付」にご提出下さい。

### 3. 口演者へのお願い

口演内容は、Progress in Medicine 7月号（ライフサイエンス・  
メディカ）に掲載される予定ですので、次の要領でまとめて下さい。

執筆要項：400字詰原稿用紙にて、図表は別で12枚以内にまとめて  
下さい。また、200字以内の英文抄録を付して下さい。

原稿締切：平成11年4月30日（後日、ライフサイエンス・メディカ  
よりあらためてご連絡いたします。）

問合せ先：(株)ライフサイエンス・メディカ 日村昭仁

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山

TEL 03-3407-8963

# プログラム

14:00～14:35

座長 北村惣一郎（国立循環器病センター）

## 最近の話題

### 【6 th International Kawasaki Disease Symposium より】

（基礎の立場から）東邦大学医学部大橋病院 病理 高橋 啓

（臨床の立場から）東京通信病院 小児科 鈴木淳子

14:35～15:15

座長 吉林宗夫（京都大学）

#### 1. 結節性多発動脈炎の1 幼児例 —臨床像と血管造影所見—

大阪市立総合医療センター 小児循環器内科

江原英治、中西秀彦、江村麻子、杉本久和、村上洋介

大阪市立総合医療センター 小児内科

栗政浩子、山田 浩、村田良輔

西宮市立中央病院 小児科

村上 博、多田博史

#### 2. 右肩病を主訴に来院した、16歳の非定型的川崎病が疑われた一例

国立舞鶴病院 小児科

大曾根眞也、宇宿智裕、澤井康子、伊集院育子、

増田淳司、貫名貞之、小西清三郎

国立舞鶴病院 整形外科

斎藤令馬

京都府立医科大学小児疾患研究施設 内科部門

早野尚志、尾内善四郎

#### 3. 川崎病冠動脈障害合併妊娠の一例

国立循環器病センター 小児科

津田悦子、神谷哲郎、高室基樹、小野安生、越後茂之

国立循環器病センター 周産期科

根木玲子、千葉喜英

#### 4. 3年続きで同季節に発症した川崎病の一症例

滋賀医科大学 小児科

江川智子、岡本暢彦、藤野英俊、中川雅生

15:15～15:45

座長 西岡研哉 (大津赤十字病院)

5. 川崎病の発症年齢と臨床、検査所見の差異の検討

神戸市立中央市民病院 小児科

齋藤 潤、富田安彦、深谷 隆、山川 勝、西尾利一

6. 川崎病冠動脈瘤の退縮正常化後における狭窄出現の有無に関する検討

京都府立医科大学小児疾患研究施設 内科部門

山元康敏、浜岡建城、岡達二郎、川北あゆみ、佐藤 恒、  
岩崎直哉、中川由美、周藤文明、坂田耕一、白石 公、  
早野尚志、糸井利幸、林 鐘声、尾内善四郎

7. ガンマグロブリン療法を行った乳児期発症川崎病患児1,008例に  
おける冠動脈障害発生頻度について

近畿川崎病研究会アンケート調査小委員会

荻野廣太郎、清沢伸幸、西岡研哉、尾内善四郎、神谷哲郎、  
古庄巻史、横山達郎

15:45～16:05

【コーヒープレイク】

16:05～16:45

座長 尾内善四郎 (京部府立医科大学)

特別講演 1

【川崎病原因究明への世界の動向】

市立岸和田市民病院 院長 古庄巻史

16:45～17:25

座長 上村 茂 (和歌山県立医科大学)

8. PTCRAにより重症局所狭窄の解除と心筋虚血の消失が得られた  
川崎病冠動脈障害の一例

京都大学医学部 小児科

吉林宗夫、米村俊哉、飯田みどり、野崎浩二、神谷一郎

医仁会武田総合病院 小児科

上田 忠

小倉記念病院 循環器科

木村 剛、延吉正清

9. 川崎病患者におけるdipyridamole負荷<sup>99m</sup>Tc-tetrofosmin

心筋シンチグラフィのfollow-up所見

近畿大学医学部 心臓小児科

福田 毅、横山達郎、篠原 徹、中村好秀、三宅俊治、  
福原仁雄、田里 寛、谷平由布子

10. 川崎病冠動脈障害の血管リモデリング:

回復期早期から遠隔期までの免疫組織学的検討

東京通信病院 小児科

鈴木淳子

東京女子医科大学 心研小児科

富田幸子、中澤 誠

国立循環器病センター

由谷親夫

11. 心筋炎における免疫グロブリンのサイトカイン抑制効果

富山医科薬科大学医学部 人間科学

高松奈美、落合 宏

富山医科薬科大学医学部 第二内科

岸本千晴

17:25~17:55

座長 菌部友良 (日本赤十字社医療センター)

特別講演 2

【親から見た川崎病の問題点—「親の会」17年の活動を通して—】

川崎病の子供をもつ親の会 代表 浅井 満

17:55~19:05

座長 中野正大 (岐阜県立多治見病院)

中川雅生 (滋賀医科大学)

シンポジウム

【ウリナスタチン療法の経験—功罪も含めて】

12. ウリナスタチン療法にて鎮静化できたガンマグロブリン無効の川崎病の一例

尼崎医療生協病院 小児科

菅 純二、富永弘久

近畿大学医学部 心臓小児科

福田 毅、篠原 徹、横山達郎

**13. ウリナスタチン投与中に発疹、発熱などを呈した川崎病の2症例**

岐阜県立多治見病院 小児科

中野正大、野田映子、武田 紹、林 幸恵、小久保義一、  
岩城利充、豊田桃三

**14. 当院での川崎病に対するウリナスタチン療法の経験**

市立豊中病院 小児科

黒飛俊二、永井利三郎、谷口真理子、角 由紀子、  
申 耕嗣、本田敦子、松岡太郎、三木和典、原 達幸

**15. ウリナスタチン併用療法を試みた川崎病の5例**

明石市立市民病院 小児科

大塚拓治、上野たまき、木下由美子、河瀬昌司、橋田哲夫

**16.  $\gamma$ グロブリン超大量静注とウリナスタチン投与にもかかわらず**

**巨大冠動脈瘤をきたした川崎病の一例**

京都大学医学部 小児科

後藤元宏、吉林宗夫、米村俊哉、飯田みどり、野崎浩二、  
神谷一郎

医仁会武田総合病院 小児科

上田 忠

**17. 川崎病におけるウリナスタチン療法の有効性と副作用について**

神鋼加古川病院 小児科

吉田 茂、中川紀子、三舛信一郎

**18. ウリナスタチン療法が不応であった川崎病3症例**

日本赤十字社医療センター 小児科

稲毛章郎、有馬孝恭、菅原祐之、土屋恵司、今田義夫、  
藪部友良、麻生誠二郎

# にっぽんの血液製剤です。

献血であることの誇りと重責……



## 献血由来

本製剤は、貴重な血液を原料として製剤化されたものであるため、その旨を十分留意し、適切な使用について配慮をお願いします。

冷蔵保存から室温保存になりました。

## 静注用人免疫グロブリン製剤 献血ベニロン-I

〈乾燥スルホ化人免疫グロブリン〉 (特) 薬価基準収載

Kenketsu Venilon®-I

●ご使用に際しましては、製品添付文書をご参照下さい。

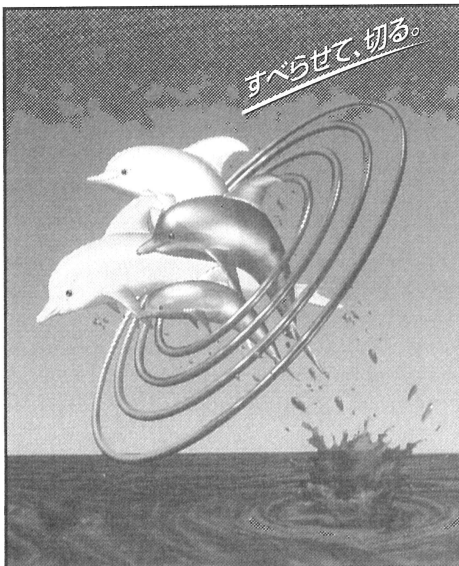
本製剤は、従来、献血由来血漿で製造された「ベニロン」を新たに「献血ベニロン-I」として製造承認を受けたものです。

総発売元・販売  
**TEIJIN** **テイジン**  
医薬事業本部 〒100-8585 東京都千代田区内幸町2-1-1

製造元・販売  
**化血研**  
親本市大塚1-6-1 〒860-8568

資料請求先： 帝人(株)医薬事業本部第2学術部  
化学及血清療法研究所営業部

B 51/2



すべらせて、切る。

## 気道粘膜の潤滑化に着目した新しいアプローチ

### 効能・効果

〈錠・液・Lカプセル〉○下記疾患の去痰  
急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰  
喀出困難  
〈錠〉慢性副鼻腔炎の排膿  
〈シロップ〉○下記疾患の去痰  
急性気管支炎、気管支喘息

### 用法・用量

〈錠〉通常、成人には1回1錠(塩酸アンブロキシオールとして15.0mg)を1日3回経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。  
〈液〉通常、成人には1回2mL(塩酸アンブロキシオールとして15.0mg)を1日3回経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。  
〈シロップ〉通常、幼・小児に1日0.3mL/kg(塩酸アンブロキシオールとして0.9mg/kg)を3回に分けて経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減する。  
〈Lカプセル〉通常、成人には1回1カプセル(塩酸アンブロキシオールとして45mg)を1日1回経口投与する。

### 使用上の注意

#### ※1.副作用

〈錠〉効能・効果が各種疾患の去痰では、承認時及びその後の6年次報告までの安全性評価対象例数26,340例中138例(0.5%)に160件の副作用が認められた。主な症状は胃不快感24件(0.09%)、発疹20件(0.08%)、嘔気11件(0.04%)等であり、副作用とされた臨床検査値の変動は血圧上昇1件(0.01%)であった。  
効能・効果が慢性副鼻腔炎の排膿では、承認時の安全性評価対象例数142例中7例(4.9%)に7件の副作用が認められた。報告された症状は胃部不快感1件(0.7%)、胃痛1件(0.7%)、腹痛1件(0.7%)等であり、副作用とされた臨床検査値の変動はなかった。  
〈液〉承認時及びその後の使用成績調査での安全性評価対象例数347例中8例(2.3%)に11件の副作用が認められた。主な症状は嘔気3件(0.9%)、嘔吐2件(0.6%)、腰痛2件(0.6%)等であり、副作用とされた臨床検査値の変動はなかった。  
〈シロップ〉承認時及びその後の4年次報告までの安全性評価対象例数1,654例中8例(0.5%)に10件の副作用が認められた。報告された症状は下痢2件(0.12%)、嘔吐1件(0.06%)、胃痛1件(0.06%)等であり、副作用とされた臨床検査値の変動はGOT上昇1件(0.06%)、GPT上昇1件(0.06%)等であった。  
〈Lカプセル〉承認時の安全性評価対象例数556例中16例(2.9%)に17件の副作用が認められた。報告された症状は悪心2件(0.4%)、胃痛1件(0.2%)、食思不振1件(0.2%)等であり、副作用とされた臨床検査値の変動は、GOT・GPT上昇3件(0.5%)、Al-p上昇1件(0.2%)等であった。

※1997年11月改訂

●詳細につきましては製品添付文書をご参照ください。

気道潤滑去痰剤／徐放性気道潤滑去痰剤  
(指定医薬品) (薬価基準収載)

## ムコンソルバン® 錠・液・シロップ Lカプセル

Mucosolvan® 〈塩酸アンブロキシオール〉

製造元・販売

**TEIJIN** **帝人株式会社**  
医薬事業本部 〒100-8585 東京都千代田区内幸町2-1-1



提携

ベリンガー・インゲルハイム・インターナショナル社  
インゲルハイム・アム・ライン(ドイツ)

資料請求先：

帝人(株)医薬事業本部第2学術部

MU12Z9605  
作成年月 1998年7月